

最新介護経営

CARE VISION

わかる・使える・明日が見える 人・モノ・カネ・情報を網羅した
介護経営月刊誌

定価 1,296円

介護 ビジョン

SEP. 2015

9

第2特集 スケールメリットを手に入れよう

前向きM&A時代、到来

特集

多死時代の介護

「看取り人材」を 育成する!

——対応力を養うために必要なこと

看取りに携わる医師の視点

——山口優美(医療法人社団康明会康明会荻窪クリニック院長)

紹介事例
【特養】ハピネスあだち／【GH】グループホームいずみ
【有老】ヒルデモアたまブラザー・ビレッジⅠ／【老健】ユニケア岡部
【看護小規模多機能】ふくふく寺前／【サ高住】シルバーウッド

「死生観」を持つことや「看取りの過程」を理解することが大切

——水野敬生(社会福祉法人一誠会常務理事・特別養護老人ホーム偕楽園ホーム施設長)

この人に訊きたい!

佐藤伸彦(ものがたり診療所所長)

看取りケアで大切なことは何ですか?

特集「多死時代」の介護

「看取り人材」を育成する!

不安解消&対応力を養うために必要なこと

受け入れると、スタッフの負担が大きくなり、疲弊してしまいがちなうえ、入居者本人や家族の延命治療に対する考え方の違いの間で板挟みになったり、揺れ動く気持ちに振り回されてしまうこともある。入居を検討している段階から、会社の方針を伝えることで、納得した人だけを受け入れることができる。

ただし、入居前にその点については同意を得るものの、気持ちに変化することもあるため、入居後に医療的処置を受けるためにほかの施設への移動を選択することは入居者の自由としている。

また、新たに入職したスタッフに対して、医療的ケアの方針について説明し、「介護職は医療職ではない。家族と同じような立場で看取ればよい」と話すことで、スタッフも安心するという。

同社が重視していることのひとつに、入居者が亡くなった後に行う「お別れ会」と「おしのびのカンファレンス」がある。前者は食堂などに亡くなった入居者の写真を置き、周囲を花などで飾り、家族やほかの入居者、スタッフが献花する。これは、初めて看取りを行った

際に、亡くなった入居者がすぐに遺族に引き取られたため、「ちゃんとお別れができなかった」と泣いているスタッフの姿を見て、考えついたという。お別れ会は介護職やほかの入居者にとっては気持ちの区切りをつける場として大いに役立つという。さらに、参列した家族から「ここで暮らせて、おばあちゃんは幸せでした」などの言葉をかけてもらうこともある。

「おしのびのカンファレンス」は、いわゆるデスクカンファレンスに相当する。スタッフが集まり、故人の思い出を語り合う。

「この場では決して『あのとき、あのケアをすればよかった』といった後悔につながるような話はしません。というの、そもそも生活の場における看取りには失敗はないからです」と、下河原代表取締役は説明する。

お別れ会とおしのびのカンファレンスを通し、スタッフは自分の仕事を振り返り、整理することができる。入居者を最期まで看取り、きちんとお別れすることは、スタッフに仕事のやりがいを感じさせ、定着率向上にも寄与しているそう。

看取りができる施設になるための3つのポイント

- ①死生観を持ってもらう場を創出
スタッフに死生観を持ってもらうために、ホスピスの視察や僧職の話を傾聴などを実施
- ②医療的なケアが必要な人は受け入れない
介護職の負担を軽減し、生活を支えることに集中してもらうため、延命治療を希望する医療的ケアが必要な人は受け入れないとする
- ③看取り後に気持ちを整理できる場を設ける
看取り後は「お別れ会」と「おしのびのカンファレンス」を設け、気持ちに一区切りつけられるようにする

入居前に施設の方針を説明
納得した人だけ入居

「これまでに、1つの施設で約20人以上の方を看取ってきました」
そう語るのは、株式会社シルバーウッドの下河原忠道代表取締役だ。同社は要支援から要介護まで、どんな人でも受け入れ、最期まで暮らせる生活の場でありたいと看取りに力を注ぐ。

そのきっかけは2011年に1棟目となるサ高住「銀木犀（ぎんきぎ）谷」をオープンした際に、末期の乳がんの入居者を受け入れたことに端を発す。元看護師のその入居者は、「病院は本来、治療をする場だから入院はしない。ここで死にます」と話し、在宅療養支援診療所や訪問看護ステーションに在宅

医療をしてもらい、同住宅で息を引き取った。その後、病院のソーシャルワーカーから終末期の入居者を複数紹介され、受け入れ看取ったことで、「高齢者住宅は人が安心して最期を迎えることができる場」という思いを強くしたという。

ただ、スタッフのなかには終末期の入居者を受け入れ、看取りまで行うことに難色を示し、辞めてしまう人もいた。下河原代表取締役は、「看取りに力を入れる」という方針をスタッフに浸透させようと方針を伝えるとともに、スタッフが死生観を持つために、映画「おくりびと」をスタッフと一緒に観る、ホスピスを視察する、僧職に話を聞くなど、さまざまな取り組みを実施した。「ただ、私がやった

のはきつかけづくりに過ぎません。入居者を看取っていくなかで、スタッフのなかにあった不安は次第に薄れていきます」と、下河原代表取締役は話す。

さらに同社では経管栄養や痰の吸引など、医療的ケアが必要な人は極力受け入れず、延命治療を希望しない人のみを受け入れるようにしている。高齢者住宅は医療を提供する場ではなく、生活の場だという信念に基づいての指針だ。医療的処置を必要とする入居者を



シルバーウッドの下河原忠道代表取締役

施設データ



株式会社シルバーウッド
住宅・店舗などの設計・施行を手がけ、2011年に初めてサ高住を開設。その後、現在は東京都・神奈川県にグループホームを各1軒、東京都・千葉県にサ高住を計4軒展開する
【住所】千葉県浦安市鉄鋼通り1-2-11
【TEL】047-304-4003
【URL】http://silverwood.co.jp/
【設立】2000年
【サービス】サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム
【平均要介護度】2.57(サ高住)、2.52(グループホーム)
【従業員数】157人(全社)

介護技能実習生採用セミナー!!

史上空前の労働力不足時代!!
日本語能力N4資格者の争奪戦!!

東京会場 10月10日(土)
TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター
東京都中央区京橋1-7-1 戸田ビルディング

大阪会場 10月17日(土)
新大阪丸ビル別館貸会議室
大阪府大阪市東淀川区東中島1丁目18-22

名古屋会場 10月24日(土)
TKP名古屋駅前カンファレンスセンター
愛知県名古屋市中村区名駅2-41-5 CK20名駅前ビル

各回とも
受付 13:30 ~
講演 14:00 ~
16:00

◆参加費◆
お一人様
20,000円

H.M.S 保健医療
福祉サービス研究会 会長
講師 天野 克夫

日本介護事業協同組合
代表理事
藤井 則行

主催 日本介護事業協同組合
〒729-3103 広島県福山市新市町新市 976-1
Tel:0847-51-4744 Fax:0847-52-5797

詳細・お申し込みはHPをご覧ください
http://www.jp-kaigo.com

日本介護事業協同組合 検索